

社会福祉法人あすか会 地域連携推進会議 議事録

「障害者支援施設あすかの家」及び「ちやのきのいえ」を見学後、ちやのき café で会議を行う

日 時:2026年2月9日(月)10:00

場 所:社会福祉法人あすか会 ちやのき café

出席者:①豊崎愛依士(障害者支援施設あすかの家/利用者)

②小倉知佳(栄産業株式会社 取締役専務/利用者の家族)

③苗倉直美(地域の関係者)

④鳥羽将文(太田郵便局 局長/地域の関係者・経営に知見のある人)

⑤三輪高久(富士ガード株式会社 代表取締役/地域の関係者・経営に知見のある人)

⑥井出洋平(太子町生活福祉部社会福祉課 障害福祉係長)

⑦岡本功(社会福祉法人あすか会 理事長)

欠 席: 坂本明日香(地域の関係者)

藤江 弘(ちやのきのいえ/利用者)

記 録: 牛堂靖子(ちやのきのいえ/施設の職員)

議題①施設生活と利用者の希望について

背景

- ・施設生活は集団生活であり一般家庭での暮らしとの差が生じる。その差を可能な限り縮小し利用者の主体性を尊重した生活支援を実現することが課題である。

討議内容

- ・入所施設とグループホームの違いを踏まえてできるだけ「普通の暮らし」に近づける支援が重要である
- ・利用者代表の意見として「もっと働きたい」「掃除(特にトイレ掃除)がしたい」「行事(運動会)で受付の役割を担いたい」「本を整理するための収納がほしい」という要望が出た
- ・施設内環境(トイレ修繕・収納家具の導入)について優先度を整理し順次対応を検討する

論点整理

- ・利用者には役割を持ちたい意欲が強い
- ・現状は職員が多くを担い、利用者の役割が限定的

決定事項

- ・利用者の主体性を尊重し役割や活動機会を拡充する方向で検討

議題②役割分担の可視化と課題について

背景

- ・言語理解の程度に差があり、視覚的揭示の有効性について

討議内容

- ・誰が何をするかを「見える化」すれば理解しやすいのではないか
- ・視覚化は重要だが提示すると逆に混乱やトラブルが起きる場合もある

論点整理

- ・視覚化は有効だが全利用者に一律適用することの難しさ
- ・役割が固定化されることによるトラブルの懸念

決定事項

- ・視覚支援の方法を再検討

議題③地域移行・グループホーム拡充の課題について

背景

- ・行政方針である地域移行の実現可能性と現場課題を共有

討議内容

- ・地域移行を進めるための条件整理
- ・最大の課題は人員配置と人材不足。育休取得や働き方改革との両立が課題
- ・職員不足により新規ホーム開設や支援拡充が困難
- ・入所施設の安心感を重視する家族が多い現状

論点整理

- ・職員確保・配置体制の見直しを継続して検討
- ・家族への説明・理解促進を継続

決定事項

- ・地域移行は中長期的課題として段階的に検討

議題④高齢化・重度化への対応について

背景

- ・利用者の高齢化及び、介助負担の増加

討議内容

- ・車椅子利用者と若年利用者が混在しており支援調整が必要
- ・男性利用者への対応として男性職員の配置も重要である
- ・外国人雇用の可能性についても言及あり

決定事項

- ・利用者特性に応じた生活環境の再編成を検討

議題⑤外出・余暇活動について

背景

- ・生活の質の向上及び地域との関係構築の観点から外出・余暇活動の在り方を確認

討議内容

- ・少人数グループでの外出を中心に行っている
- ・地域の店舗が利用者を理解して対応してくれる関係性が築かれているとの共有あり
- ・言葉の出にくい利用者の気持ちを汲み取る支援の重要性の確認

論点整理

- ・施設として積極的に取り組んでいる
- ・個別対応には人的余裕が不可欠

決定事項

- ・外出・余暇活動は少人数・個別希望重視の方針を継続
- ・地域店舗との関係を維持・強化する

まとめ

利用者の「普通の暮らし」への意欲を大切にしながら役割づくりと環境整備を進める
人材不足・高齢化への対応が今後の大きな課題である
引き続き関係者間で情報共有を行い、支援体制の充実を図る

以上